



# 聖書クラス 12使徒

「あなたに天の御国のかぎを上げます」

マタイ16:19



# 使徒の順番

マタイ10:2-4

マルコ3:16-19

ルカ6:12-19

シモン

シモン

シモン

アンデレ

ヤコブ

アンデレ

ヤコブ

ヨハネ

ヤコブ

ヨハネ

アンデレ

ヨハネ

フィリポ

フィリポ

フィリポ

バルトロマイ

バルトロマイ

バルトロマイ

トマス

マタイ

マタイ

マタイ

トマス

トマス

ヤコブ (Alpheus) ヤコブ (Alpheus) ヤコブ (Alpheus)

タダイ

タダイ

シモン熱心党

シモン熱心党 シモン熱心党 ユダ (James) = タダイ

ユダ (Iscariot)

ユダ (Iscariot)

ユダ (Iscariot)





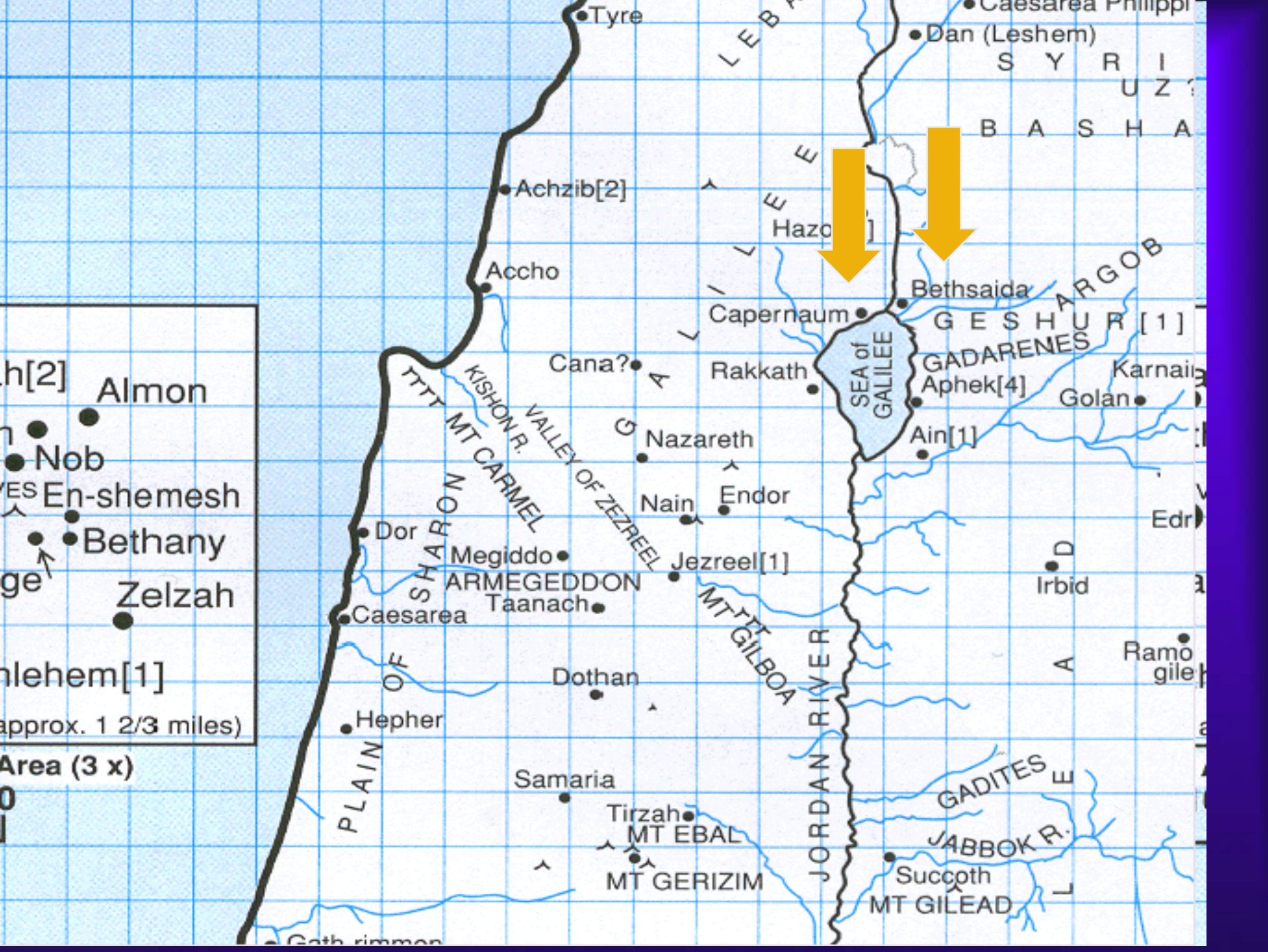
# アンデレ

## 「紹介者」の使徒

# 家族、出身地、元の職業

- ◆ 元々ベトサイダ出身、後にカフェルナウム
- ◆ 名アンドレアス(Andreas): 男らしい、雄々しい
- ◆ 家族: 兄弟シモン、父ヨハネ  
*ヨハネ1:42 あなたはヨハネの子シモンです*
- ◆ 漁師—兄弟シモンとヤコブとヨハネと一緒に漁師の仕事を共に勤めた
- ◆ ガリラヤ湖から一世紀の釣り舟発見。複数ではないとこの船をつかえない







# キリストに出会う前の性格・弱さ

- ◆ もともとバプテスマのヨハネの弟子だった
- ◆ ヨハネのような情熱・確信があった可能性
- ◆ 熱心に御言葉を勉強し、救い主(メシア)を待ち望んでいた
- ◆ 決断力があつた(ヨハネ1、6、12)
- ◆ 信頼されている人物だった(ヨハネ12)
- ◆ ペテロの兄弟といつも紹介されて控えの存在だった。その謙虚さもヨハネから学んだ可能性



キリストによってどのように変わったか

どのように変わったかは具体的に分かり  
ません



# イエスとの関係

- ◆ イエスに会った最初の弟子の一人であった
- ◆ 色々な場面でイエスに大切な人を紹介した





# 福音書や使徒言行録での記録

## ◆ イエスについて行く最初の弟子

ヨハネ1:40 ヨハネの言葉を聞いて、イエスに従った二人のうちの一人は、シモン・ペトロの兄弟アンデレであった。

## ◆ 何人かのギリシヤ人にイエスを紹介した

ヨハネ12:20-22 さて、祭りのとき礼拝するためにエルサレムに上って来た人々の中に、何人かのギリシヤ人がいた。彼らは、ガリラヤのベトサイダ出身のフィリポのもとへ来て、「お願いします。イエスにお目にかかりたいのです」と頼んだ。フィリポは行ってアンデレに話し、アンデレとフィリポは行って、イエスに話した。

## ◆ 柱の三人の仲間に入っているよう

マルコ13:3 イエスがオリーブ山で神殿の方を向いて座っておられると、ペトロ、ヤコブ、ヨハネ、アンデレが、ひそかに尋ねた。

# 人生の後半・死

- ◆ 現代のロシア、ウクライナで宣教した
- ◆ 現代のイスタンブールにも行った
- ◆ アジア州からギリシャへ
- ◆ ギリシャのパトロスで殉教 69AD
- ◆ パトロスの総督アイゲアティス(Aigeatis)が妻と兄弟が回心したことに怒り殺した
- ◆ 3日間X型の十字架に縛り上げられた
- ◆ 最後の言葉「私が目撃し、愛しているキリスト・イエス様、どうか私のありのままの姿をお受け入れて下さい。永遠な国に私の魂を受け入れてください」





シモンペテロ

砂から岩へと変身

# 家族、出身地、元の職業

アンデレの兄弟

ヨハネの息子

妻がいた・しゅうとめも同居

マルコ1:30「ところが、シモンのしゅうとめが熱病で床に着いていたので…」

妻を宣教旅行に連れて行った

第一コリント9:5「わたしたちには、他の使徒たちや主の兄弟たちやケファのように、信者である妻を連れて歩く権利がないのですか。」



# 家族、出身地、元の職業

以外と裕福な家庭。漁師の商売で成功していた。



Traditional site of Peter's House  
Copyright ©1995 Dr. Bryant Wood

# キリストに出会う前の性格・弱さ



落ち着きがない

思いがころころ変わる、あわただしい

自分の感情をコントロールできない

時には暴力的。体は大きいと画かれている。エネルギーに溢れている。

人の目を気にして妥協してしまう傾向

リーダーシップの可能性はある

積極的、大胆、漁の商売では成功している

キリストによってどのように変わったか

確信と勇気に溢れる人となった

使徒の中でリーダーシップをとれるようになった

最後は確信を貫きローマに行った殉教者となる





# イエスとの関係

会った瞬間から特別な名前をもらった  
程期待されていた

イエスを戒めることができるほど親しい  
関係があった(マタイ16)

ヤコブとヨハネと共に特別な3人の関係  
何度もチャンスをもたらった



# 福音書や使徒言行録での記録



\*水の上を歩いた(マタイ14)

\*イエスはキリスト、神の子と断言し、イエスから御国のカギをあずかった(マタ16)

\*大祭司の僕の耳を切った(ヨハネ18)

\*イエスを三回裏切った(ヨハネ18)

\*復活したイエスを見て興奮し、153匹の魚を一人でひいた。(ヨハネ21)

\*五旬祭の日に説教し、3000人が救われた(使徒2)

# 福音書や使徒言行録での記録

\*祭司長らに連行される(使徒4)

\*エルサレムから出て巡回した

使徒9:32 「ペトロは方々を巡り歩き…」

\*差別の壁を壊す

使徒9:43 「ペトロはしばらくの間、ヤッファで革なめし職人のシモンという人の家に滞在した。」

カイサリアで夢を見、コルネリウスに会い、

最初に異邦人の改宗者が誕生した

その後もカイサリアに留まり、使徒11:19-30





# 人生の後半・死

- \*教会の柱の一人とパウロに呼ばれた  
ガラテア2:9「また、彼らはわたしに与えられた恵みを認め、ヤコブとケファとヨハネ、つまり柱と目されるおもだった人たちは」
- \*第一ペテロ・第二ペテロの手紙を書いた  
その時にバビロニアの教会に奉仕した
- \*その後ローマに行った。ローマではヨハネ・マルコがペテロの通訳を勤めた  
(マルコの福音書はペテロの説教の内容がほとんどと言われている)



# 人生の後半・死



\*ローマで説教した結果、役員に牢屋に入れられた。マーマティン(Mammertine)というひどい牢屋に入れられ、9ヶ月間真っ暗の中、立ちながら鎖で縛られた。しかし看守を回心し、多分彼らに自由にされた

\*妻が大迫害の中で殺されるために連れていかれた時に彼女に「主を思い出さない」と言った

\*皇帝ネロによっての迫害でペテロは一度ローマから逃げるようとした

# 人生の後半・死

\*途中でイエスに会い、ペテロは「主よどこに行かれますか？」(Quo Vadis Domine)と尋ねるともう一度十字架に架かりに行く。その言葉によってペテロは戻った。

主イエスと同じ死の方にはふさわしくないと思い十字架を逆さにするように頼んだ

\*ローマの聖ペテロ教会にペテロの骨が葬られていると言われている



# 人生の後半・死

\*イエスが予言したことを成し遂げた

ヨハネ21:18-19「はっきり言っておく。あなたは、若いときは、自分で帯を締めて、行きたいところへ行っていた。しかし、年をとると、両手を伸ばして、他の人に帯を締められ、行きたくないところへ連れて行かれる。」ペトロがどのような死に方で、神の栄光を現すようになるかを示そうとして、イエスはこう言われたのである。

